

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は先週の27.15人から今週**18.07人**と減少しました。新型インフルエンザ(AH1pdm)が主流の流行のピークは過ぎたと思われますが、今後は別の型(A香港型やB型)の流行により患者数が増加することも考えられますので引き続き注意が必要です。地域的にみると、中播磨保健所管内で警報レベルである定点あたり30人以上、丹波保健所管内を除く地域が注意報レベルである定点あたり10人以上となっています。最近5週間の患者の年齢分布は5歳未満23%、5~9歳30%、10歳代21%、20歳以上27%で、20歳以上の割合が例年(昨年までの4年間は13~18%)と比べて多くなっています。

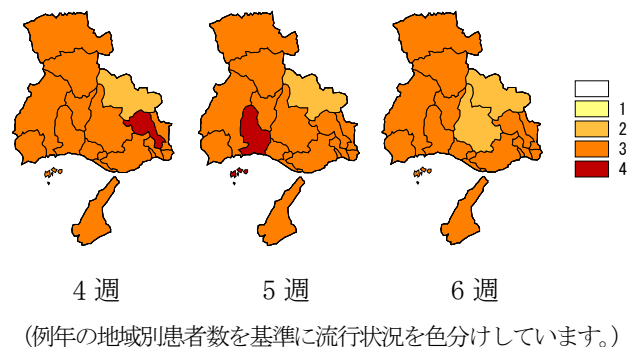
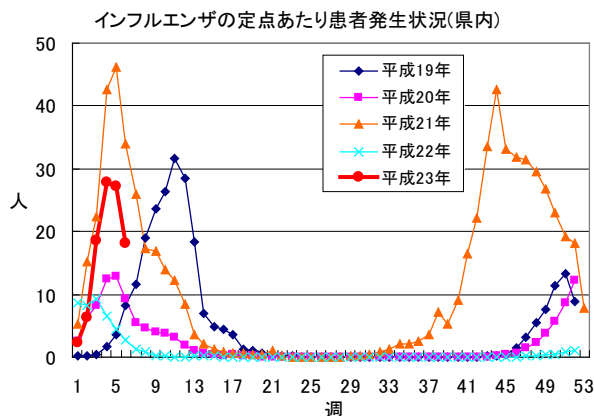
全国的には兵庫県を含む43都道府県に警報レベルの保健所があり、これ以外の4県に注意報レベルの保健所があります。

兵庫県内の学級閉鎖等(第6週)の状況は、施設数170か所(先週219か所)、患者数1,263人(同1,679人)、欠席者数1,205人(同1,595人)と減少しました。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに119検体のインフルエンザウイルスを検出していますが、その内訳は新型インフルエンザ(AH1pdm)108件(91%)、A香港型(AH3亜型)8件(7%)、B型3件(3%)と、新型インフルエンザ(AH1pdm)の割合が大部分を占めています。

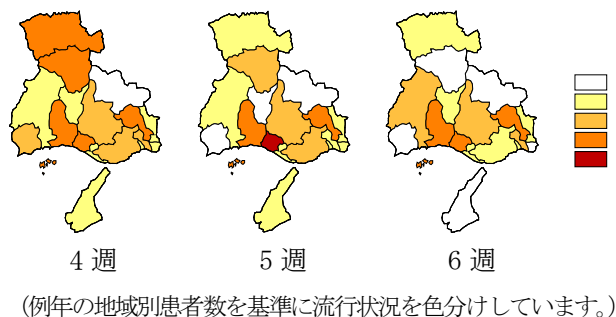
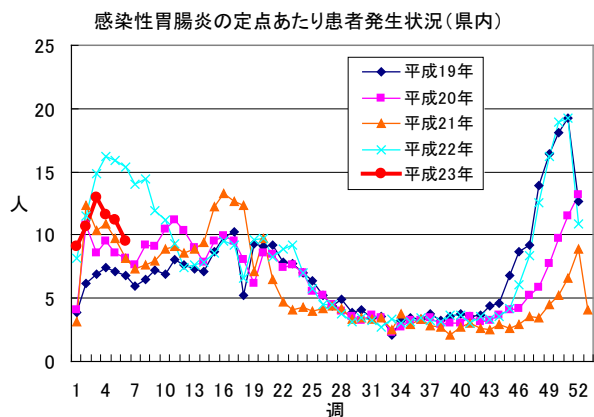
全国で検出報告されたインフルエンザウイルスも、第49週以降新型インフルエンザ(AH1pdm)が増加し、A香港型(AH3亜型)の検出報告数を上回っています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **9.53 人**（先週は 11.17 人）と減少しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



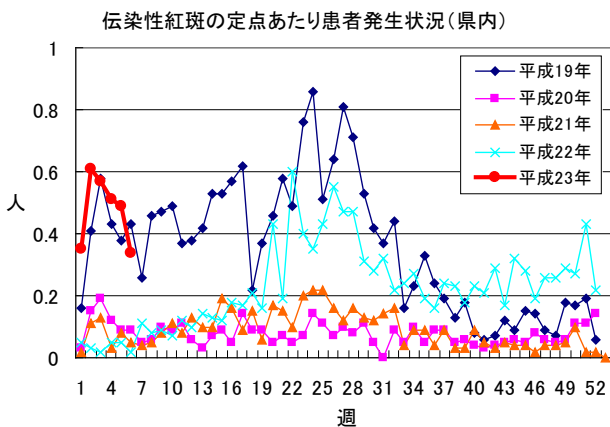
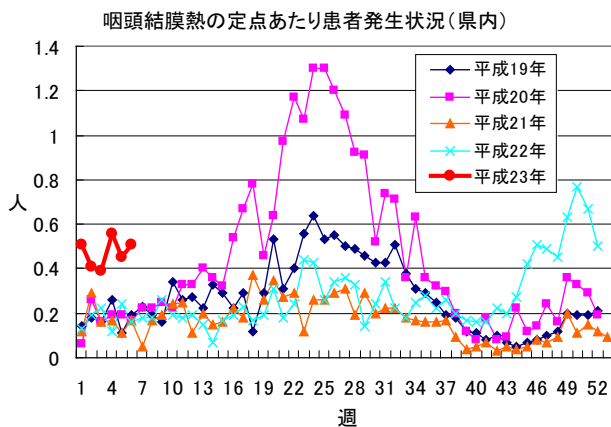
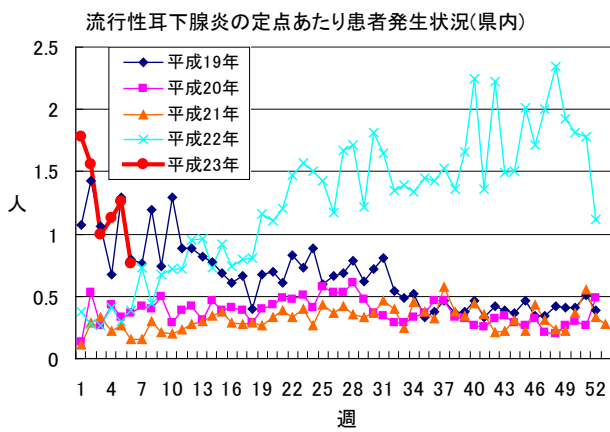
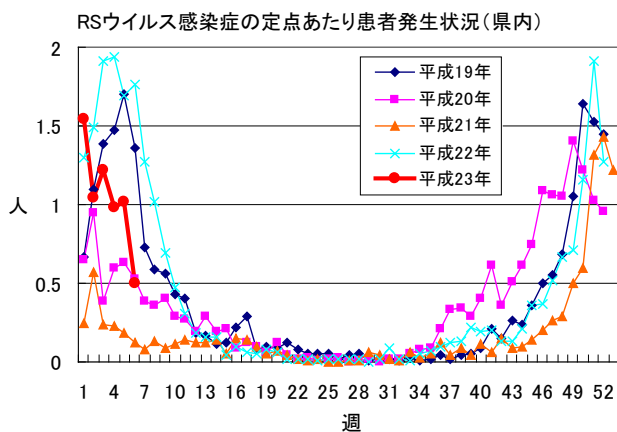
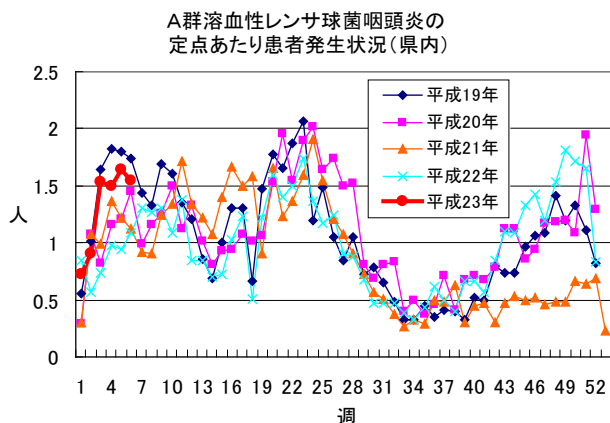
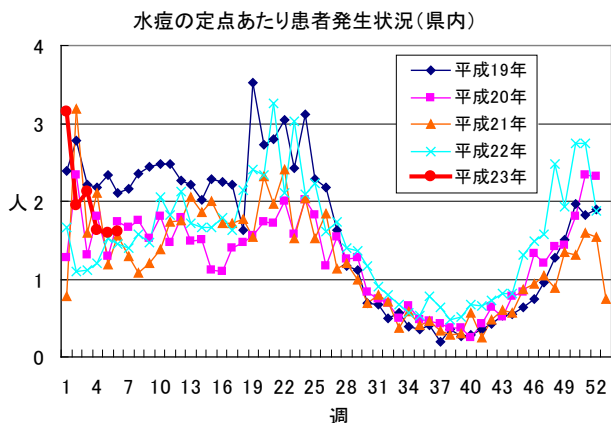
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	18.07	27.15	-9.08	6位	咽頭結膜熱	0.51	0.45	+0.06
2位	感染性胃腸炎	9.53	11.17	-1.64	7位	RS ウイルス感染症	0.50	1.02	-0.52
3位	水痘	1.61	1.59	+0.02	8位	突発性発しん	0.45	0.57	-0.12
4位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55	1.64	-0.09	9位	流行性角結膜炎	0.43	0.37	+0.06
5位	流行性耳下腺炎	0.76	1.26	-0.50	10位	伝染性紅斑	0.34	0.49	-0.15

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 6 名 （尼崎市 1 名、姫路市 1 名、伊丹保健所管内 3 名、龍野保健所管内 1 名）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	A 型肝炎 1 名 （明石保健所管内；女性 30 歳代 感染地域；国外、感染経路；経口感染）
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 名 （神戸市；男性 40 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；創傷感染）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （AIDS）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）、 ジアルジア症 1 名 （神戸市；男性 20 歳代 感染地域；国外、感染経路；水系感染）
追加報告	レジオネラ症 1 名 （加東保健所管内；肺炎型 男性 50 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；水系感染）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）

目で見る動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

平成19年と同様に例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。